

# 立石雅昭 新潟大学名誉教授 招き現地調査・講演会

## 活断層の過小評価にクギ

### 遠藤氏、県議団、松江市議団ら参加



日本共産党の島根県議団と松江市議団は12日、立石雅昭新潟大学名誉教授（地質学）を招き、「島根原発再稼働ストップ、活断層の新知見を讀み解く」と題した講演会を松江市で開きました。約50人が参加しました。



た。（写真上）中国電力は島根原発近くにある活断層「宍道断層」の長さを3キロ延長して25キロと評価。規制委員会は再稼働の前提となる1月の審査で了承しました。立石氏は「地表に現れている活断層は地下の震源

断層の一部。地震を引き起こしうる震源断層と活断層の関係は、現在の科学では信頼に足る地震規模の予測は困難。それをできる」と強弁し、原発は安全だと主張するのは放漫だ」と指摘。島根原発の敷地と周辺では地震が発生する深さ（数キロから十数キロ）の地下構造、特に地震を引き起こしうる断層の存在が一切明らかにならないうちに、宍道断層が25キロなどあり得ないと強調しました。（写真下）

した。立石氏や遠藤秀和党鳥取・島根国政対策委員長、大平喜信衆院議員秘書、県党参院議員 政策秘書 迎え **TPP問題講演会** 米子 遠藤 党鳥取・島根国政対策委員長 真下

議団と市議団らは11、12の両日、島根原発構内や宍道断層を現地調査しました。（写真下）

小倉氏は「TPP協定の目的は最終的にすべての品目の関税撤廃にある」と指摘。協定には、①協定発効後直ちに関税撤廃時期の繰上げ協議規定、②発効後7年目の見直し規定が盛り込まれているとし



「TPPは農林水産業や食の安全などに深刻な影響を及ぼす」と話しました。遠藤秀和党鳥取・島根国政対策委員長が決意表明しました。

## 4月12日告示 4月17日投票 川本町議選

### 山口節雄氏 立候補予定



川本町議選（定数9）が4月12日告示、17日投票で行われ、日本共産党から新人の山口節雄氏（写真）の立候補を予定しています。川本町は2008年に山下倫代氏が勇退された後、日本共産党の議員がいらない自治体とな

っています。 今回の立候補にあたり、山口氏は「町政に住民の声をまっすぐ届ける議員が必要」との思いで挑戦する決意を固められました。日本共産党は、空白克服をめざし、全力でたたかいます。

略歴◆1949年、川本町三原生まれ◆島根大学卒◆74年、損害保険会社へ入社◆2015年、損害保険会社を退職し、広島から川本町へ帰郷◆15年、石見銀山囲碁将棋道場を開設。

### 山口氏のあいさつ

いま、国民生活と平和・民主主義は、安部法制の強行成立で、戦後最大ともいえるべき危機に直面しています。このような時、自治体には、国いなり政治から住民を守る役割を発揮することが求められています。この間、議会を傍聴しましたが、住民の声を町政に生かす自治体本来のあり方からすると不十分と言わざるを得ません。私は、①住民の声を町政に反映させ、住民の命とくらしを守る町政、②住民にとって不利益となる国や県の施策に声をあげる町政への転換をめざして頑張ります。

## 脇目ふらず党躍進へまい進しよう

### 安倍暴走政治と対決する党を大きく

「脇目もふらずに党の躍進へまい進しよう」―9日に開かれた参院候補者会議の合言葉です。国会が始まって安倍政権の暴走はますます酷くなっている。

この暴走にあらゆる分野で立ちのぼる対案を示してたたかっているのが日本共産党。草の根で戦争法廃止、立憲主義を取り戻す一点での共闘を真剣に努力し、2000万署名にも全力をあげています。最後の最後まで野党共闘、統一候補への努力を誠実に尽くすのは当然ですが、それ待たずに、様子見に陥らず候補者先頭に党躍進に全力をあげよう、それが国民の願いにこたえる道と決意を固めました。

松山市労働者後援会のつどい（10日）へ。春闘真っ盛りのいま、アベノミクスから決別し賃金アップ、正規雇用拡大が景気をよくする道、と語り合いました。日銀はついにマイナス金利に踏み出しました。

## 春名なおあき 参院比例候補



爽風 エッセイ

市中銀行が日銀にばかりお金を預けるのではなく市中に回るようにとの狙いでしようが、一番の問題は市中に需要がないことです。大企業ばかり応援し、国民に痛みを押し付け、個人消費をないがしろにしてきたアベノミクスの破たん証明です。株価も大幅に下落を始めました。世界一株価を気にするた。安倍政権の頼みの綱が切れ始めています。広島県廿日市市のつどい（11日）のタイトルは



「呼ぼうよ 春（名）を早春のつどい」。「春名とともに政治に春を」と実に語りやすい。岩国の錦帯橋近くで街頭演説をして、お近くの商店の女将にご挨拶すると「私もハルナよ」。「お名前ですすよね」「いいや名字（旧姓）です」「お生まれは？」「岡山県備前市」「私、美作市です」。

珍しい姓ですから一気にな親近感がわきます。春に向かうこの時期は名字だけで得した気分。

地元長浜での新春のつどい（7日）では、米田県議夫妻、下元市議夫妻のデュエットに混じって私たち夫婦も結婚30年で初めてのデュエット。曲目はAKB48の「365日の紙飛行機」。ド緊張のあまり写真も取り忘れ。酔いもいつぱんに覚めました。あいさつの方がはるかに楽です。

（2016年2月21日付）